

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（1 / 4 ページ）

種目(教科等)【保健体育】

項目	教科書名(新編 新しい保健体育) 会社名(東 書)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、「今日の学習」で学習の目標を明確にし、習得状況を確認しながら学習活動を進めるようになっている。</p> <p>○思考力・判断力などを育成するために、「考えてみよう」の項目を提示し、考える、話し合う、発表するなどの活動を通して、知識を確実に習得し、健康の保持増進のための実践力の育成を図るようになっている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○巻末に各学習のキーワードの詳しい説明を設けたり、章末に確認問題を設けたりするなど、基礎的・基本的な内容の定着を図るような構成となっている。</p> <p>○資料の横に資料を読み取るためのポイントが記されている。</p> <p>○ワイドの見開き2ページで1単位時間を学習する基本となっている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○各単元の「考えてみよう」や章末に学んだ知識を活用して考える「活用の問題」などにより思考力・判断力等の育成が図られている。</p> <p>○学習内容に関連したクイズが各単元に配置されている。</p> <p>○キャラクターによる発問や詳しい説明があり、語句が豊富となる表記である。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「やってみよう」「考えてみよう」「生かそう」など学びの筋道がわかり、主体的に学べるような構成になっている。</p> <p>○事例などを用いたディスカッション等の学習方法が取り入れられ、各種マークにより他教科・他ページとのつながりが示されている。</p> <p><生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫></p> <p>○体育編では、写真やイラストとともに、吹き出しを活用することで、運動やスポーツの学び方等の理解が深まるような工夫がされている。</p> <p>○運動やスポーツによる社会性の発達が示されており、運動に親しむ資質や能力を育成する工夫がされている。</p> <p><健康の保持増進のための実践力を育成する工夫></p> <p>○応急手当の仕方では、AEDや心肺蘇生法の流れについて、実習で習得できるよう写真やイラストを用い、効果的な指導ができるように工夫されている。</p> <p>○「健康な生活と疾病の予防」では、喫煙、薬物などを断るための具体的な方法を示し、ロールプレイ等で実際の生活に活かすように工夫されている。</p>
	<p>資料</p> <p>○学習内容の理解が深まるよう豊富な資料があり、写真とイラストを効果的に使用している。</p> <p>○資料のグラフには、ポイントが記され、重要語句の説明がされている。</p> <p>○ホームページのURLを掲載し、調べ学習や発展的な学習を提示している。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○本文は中央に、資料等が回りにレイアウトされている。また、学習のキーワードや資料を読み取るためのポイントがピックアップされている。</p> <p>○「他教科」マーク（他教科の関連）や「リンク」マーク（他ページの関連）が設けられている。</p>
<p>総括</p>	<p>○章の扉には、学習内容の系統性が明記されている。「今日の学習」「やってみよう」「本文・資料」「考えてみよう」「生かそう」という学習の道筋が見える構成になっている。章末に章末資料、確認の問題、活用の問題、学習のまとめ、自己評価の欄がある。資料が豊富であり、また読み取るための詳しい説明がある。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（2 / 4 ページ）

種目(教科等)【保健体育】

項目	教科書名(新版 中学校保健体育) 会社名(大日本)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○基礎的・基本的な知識の習得のために、「今日の学習課題」で目標が示され、効果的な資料を使って、授業展開がされるようになっている。</p> <p>○思考力・判断力・表現力等を育成するために、授業のまとめの「学習を活かして」で、実生活での活用のための課題を示すことで、健康の保持増進のための実践力の育成を図るようになっている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫></p> <p>○1単位時間の「学習課題」が始めに提示され、「考えよう」で自分の考えを持ってから学習が始まる構成になっている。また、終末には重要な用語が「キーワード」として示され、学習内容の習得の確認ができるようになっている。</p> <p>○章末には「学習のまとめ」で重要項目が整理されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○各学習の終末には「学習を活かして」が設けられ、習得した知識を自分の言葉でまとめ、実生活で活かすよう促す工夫がされている。</p> <p>○「考えよう」では、資料や身近な事項を通して自分なりに考えさせ、思考力や判断力等を育てる工夫がされている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「ミニ知識」や「トピックス」、章末資料の「トピックス+」で関連した情報が紹介され、興味が深まり学習への意欲が高まる工夫がされている。</p> <p>○「リンク」マークにより体育分野と保健分野の関連が記されており、より深く学習内容を理解するための工夫がされている。</p> <p><生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫></p> <p>○体育編において、イラストや写真を効果的に活用し、視覚的にとらえさせることで、運動やスポーツの学び方等についての理解を深める工夫がされている。</p> <p>○運動・スポーツを行うことによる効果として、心と体の発達や社会性の発達の重要性が挙げられており、運動に親しむ資質や能力を育成する工夫がされている。</p> <p><健康の保持増進のための実践力を育成する工夫></p> <p>○健康と環境の関係をイラストやグラフ等でわかりやすく示し、自分にできる環境を整える行動等を考え、実践へ繋げる工夫がされている。</p> <p>○応急手当の学習では、イラストを活用し、身の回りで起きるケガへの手当てを理解し、実践できるよう工夫されている。</p>
	<p>資料</p> <p>○ワイドな見開きで、本文と資料はスペースを活かした配置となっている。また、欄外には学習に関係するホームページを紹介している。</p> <p>○生徒の興味関心を引きやすいイラストや写真が効果的に配置されている。</p> <p>○「ミニ知識」で学習内容がより深まる工夫がされている。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○1単位時間、見開き偶数ページで構成され、資料等わかりやすく示されている。</p> <p>○「学習課題」→「考えよう」→「本文・資料」→「学習を活かして」という流れで構成されている。</p> <p>○章末には、「重要な言葉」や「学習の要点」がまとめられている。</p>
<p>総括</p>	<p>○「この章で学習すること」として、その章の学習の課題や学習の流れが示されている。重要な用語を強調文字と「キーワード」として示している。資料や「リンク」により、体育分野と保健分野の関連が示されており、横断的な学習をするような構成となっている。ワイドな見開き構成である。</p>

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（3 / 4 ページ）

種目(教科等)【保健体育】

項目	教科書名(保健体育)	会社名(大修館)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○基礎的・基本的な知識・技能の習得のために、学習への動機付けとなる短い問いかけ文で学習の内容を明確にして、学習活動を進めるようになっている。</p> <p>○思考力・判断力・表現力を育成するために、「チャレンジ」や「活用」の項目を提示し、学んだことを実生活等に当てはめて考えさせることで、健康の保持増進のための実践力の育成を図っている。</p>	
特色	<p><基礎的・基本的な知識技能を習得させる工夫></p> <p>○1単位時間の学習が、「クエスチョン」「本文・資料」「トライ・チャレンジ」という流れで構成されている。</p> <p>○「キーワード」を記すことによって、習得すべき内容を把握しやすくしている。</p> <p>○章末に「学習のまとめ」を設け習得すべき内容を確認できるようにしている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「トライ」では、実生活に即した問いかけにより、思考力や判断力の育成を図るとともに、習得した知識を活用できる内容になっている。</p> <p>○「チャレンジ」は、学んだことを活用しながら考える問いかけになっている。また記述による回答を求める問いかけが多く、表現力の育成にも繋げている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○各単元のはじめに、内容に関する問いかけがあり、課題意識を持って学習できるようになっている。</p> <p>○「クエスチョン」で各章の学ぶべきことを大きくつかむことができ、更に身近な問いかけにより、より主体的に学習に取り組めるような工夫がされている。</p> <p><生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫></p> <p>○運動やスポーツの学び方では、イラストや写真などが効果的に配置されており、視覚的にとらえることができ、理解を深める工夫がされている。</p> <p>○「チャレンジ」では、実践的な思考を引き出すことで、運動に親しむ資質や能力を育成する工夫をしている。</p> <p><健康の保持増進のための実践力を育成する工夫></p> <p>○「健康な生活と病気の予防」では、自分のこととして考えられるような具体的な学習課題を提示したり、イラストや写真を活用し健康な生活と病気の予防について考えさせたりするなど、実践力を育成する工夫をしている。</p> <p>○疑問があるときにはいつでも調べられるように、URLを掲載している。</p>	
資料	<p>○習得すべき学習内容の理解を促すために、写真や絵、図、表など精選された資料が掲載されている。</p> <p>○欄外にURLを記載し、調べ学習や発展的な学習を提示している。</p> <p>○「コラム」を設け、より実生活に即した理解ができるようにしている。</p>	
表記・表現	<p>○本文部分に薄黄色の下地を敷き、その他の資料などと分けて配置している。</p> <p>○重要な語句を太字で強調したり、内容を視覚的に捉えることができるように、図や表を多く配置したりしている。</p> <p>○欄外に、関連する学習内容のページを参照として示している。</p>	
総括	<p>○各単元の始めに短い問いかけ文が設けられ、何を学ぶのかをイメージできるような構成になっている。本文と図や表が適切に配置されている。図や表は、生徒が理解したりイメージしたりしやすいものが掲載されている。「チャレンジ」では、より発展的な内容を理解したり、表現力を育成したりする工夫がされている。</p>	

教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告（4 / 4 ページ）

種目(教科等)【保健体育】

項目	教科書名(新・中学校保健体育) 会社名(学研)
教育基本法、学校教育法の下、学習指導要領の教科の目標とのかかわり	<p>○基礎的・基本的な知識の習得のために、「学習の目標」により目標を示し、本文に即したグラフや資料を使って学習を進めるようになっている。</p> <p>○思考力・判断力などを育成するために、章末に「活用しよう」の項目を提示し、学習を通して身につけた知識を実生活で活用するための課題を設けることで、健康の保持増進のための実践力の育成を図っている。</p>
特色	<p><基礎的・基本的な知識・技能を習得させる工夫></p> <p>○重要語句の意味がそのページに記載されており、その場で調べることができる。</p> <p>○文末に資料1などの関連マークがあり、資料と本文をリンクさせて理解を深められるよう工夫されている。</p> <p>○習得した知識を実生活に活かすための説明資料が効果的に配置されている。</p> <p><思考力、判断力、表現力等を育成する工夫></p> <p>○「考える」「判断する」「話し合う」などの身につけさせたい力が「ウォームアップ」「エクササイズ」「活用しよう」の中に効果的に設置されている。</p> <p>○生徒の発達段階に応じた文章表現やたとえで表現されており、生徒の思考力や判断力、表現力等を育成する工夫がされている。</p> <p><主体的に学習に取り組む態度を養う工夫></p> <p>○「ウォームアップ」「エクササイズ」「活用しよう」など、主体的に学習に取り組める発問、演習、まとめがあり、内容理解が深まるような構成となっている。</p> <p>○章のまとめに学習内容の確認ができる問題がある。わからない部分の振り返りができるよう項目とページが記されている。</p> <p><生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育成する工夫></p> <p>○「スポーツの効果と安全」では、体力測定について資料で触れるとともに、体力が心と体に及ぼす効果についてグラフや図で示している。</p> <p>○運動やスポーツをすることで、ルールやマナーを守ることなどが示されており、運動に親しむ資質や能力を育成する工夫がされている。</p> <p><健康の保持増進のための実践力を育成する工夫></p> <p>○「健康な生活と疾病の予防」では、生活習慣や疾病など資料やイラストで視覚的に示されている。</p> <p>○応急手当では、写真とフローチャートに関連づけながら説明することで、実習を通して理解ができるようになっている。</p>
	<p>資料</p> <p>○イラストのみでなく、顕微鏡での映像など細かい映像まで実際の写真を多く取り入れ、視覚的な部分からイメージしやすいような工夫がされている。</p> <p>○各章末には、「探究」が設けられている。また、言語能力を育成するために、コラム(読み物資料)が設けられている。</p>
	<p>表記・表現</p> <p>○1単位時間は「課題の確認」→「ウォームアップ」→「本文・資料」→「エクササイズ」→「活用」という学習の流れで構成されている。</p> <p>○用語解説や関連情報などそのページの中に記されている。</p> <p>○本文と資料をリンクさせるために、本文中に資料番号が記されている。</p>
<p>総括</p>	<p>○基礎的・基本的な知識の習得とその活用・探究に重点を置き、「学習の目標」「本文・資料」「活用」という流れで構成されている。習得した知識を活用する課題、資料を読み解く課題、実験・実習等が設けられている。「章のまとめ」では、習得した知識の確認問題や自分の生活への活用の記入欄を設けている。</p>